



介護老人保健施設
グリーンビレッジ安行
広報誌

2014年1月発行 新春号 Vol.4



ちゃぼひば

〒334-0059 埼玉県川口市大字安行1145 TEL: 048-299-0018 FAX: 048-299-0041
ホームページ <http://gv-angyo.jp/> ぜひご覧下さい!!



～広報誌 ちゃぼひばの由来～

グリーンビレッジ安行のシンボルでもあるチャボヒバの木。この木のように、幾多の事にも挑戦して大きく成長していけるようお願いを込めて名付けました。



～ 施設方針 ～

“グリーンビレッジ安行”は明るく暖かい雰囲気の中でリラックスできる環境を提供いたします。

..... 理 念

人間の尊厳
正義・博愛・献身・科学的思考

- 1.施設を明るく家庭的な雰囲気には保ち、利用者が自立した日常生活を営むことができるよう支援します。
- 2.短期入所・通所リハビリテーションの機能を生かし、在宅ケア支援を積極的に行います。
- 3.介護・医療・福祉に係わるすべての方々との連携を密にし、地域の皆様に愛し愛される開かれた施設を目指します。

Contents

○植木の町安行の歴史	2
○一時救命処置シミュレーション	2
○通所懇親会・フロア懇親会	3
○クリスマス会	3
○第55回全日本病院学会	4
○風船飛ばし	4
○ドッグセラピー	4
○1階外出レクリエーション	4

「ちゃぼひば」VOL.4

平成26年1月発行

発行責任者：療養部長 小島 明美

編集・制作：広報委員会

委員長：堀田 智博

委員：平野 真子・工藤 修・佃 市子

平山 智経・佐藤 優里奈・小林 仁美

植木の町安行の歴史



施設長 内野 善生

安行植木の祖である吉田権之丞は江戸寛永年間に生まれ、昨年が没後300年に当たる。施設から車で3分程の所にあり室町時代に開山した古刹金剛寺に権之丞の墓がある。明暦3年（1657年）死者10万人を超えた江戸の大火（振袖火事）は、その年晴れた日が続き乾燥しきった江戸の町を焼き尽くした。以前自分が草やわらを売り歩いた江戸。今は焦土と化したその江戸を緑で復興させ、恩返しとなれば・・・と行動した少年が吉田権之丞であった。彼のかつぐ天びんの中には花の苗木がひしめいていたという。こうした植木が江戸の町民に喜ばれたことが、今日の植木の町安行へと繋がっていったという。

安行を中心としたこの地域は土質が良い上起伏に富んでおり、台地や色々な方向の斜傾地も多く低湿地もある。このことが日照や通風条件を多様にし、乾燥・湿性・陽性・陰性いずれかを好む樹木の基となっている。当施設のシンボルである「チャボヒバ」は、地主であった宇田川勇様から寄贈されたが、樹齢から江戸時代に植えられたと考えられ、吉田権之丞を偲ぶに十分である。今年には現在の場所からヒバ種が好む陽性で斜傾地である施設正門への植え替えを計画している。



一時救命処置研修を終えて

療養副部長 藤津 妙子

今回全職員を対象に一時救命処置の研修を施設内で行いました。講師は中村看護師BLS（Basic Life Support）有資格者です。戸田中央総合病院よりシミュレーション用の人形を借り、中村看護師と教育委員を中心に夜間を想定とし限られた人数での対応を実施しました。一時救命処置は、心停止の可能性を認識した時点で**応援**を呼び、**応援者へ指示を的確**に行います。その指示内容は**早急に119番通報**・**胸骨圧迫**・**人工呼吸による心肺蘇生（CPR）**・**AED**等が含まれ誰もがすぐ行える処置です。

◀ 救命処置の方法 ▶

反応なし→①応援依頼・AED依頼・119依頼 ②心肺蘇生（CPR）の開始 *胸骨圧迫100回/分、胸骨圧迫は胸の真ん中5cmほど強く押す。30：2で胸骨圧迫に人工呼吸を加える。強く、速く、絶え間なく続ける ③AED装着（電気ショック） ④医師、家族連絡 ⑤心肺蘇生（CPR）継続



通所懇親会

通所懇親会を11月15日(金)16日(土)に開催しました。今年のご利用者に加え、9名のご家族にもご参加いただきました。ご家族には施設でのご利用者の生活を知っていただく、ご利用者と一緒に施設で提供している食事を召し上がっていただいたり、施設内の見学などをさせていただきました。また、今年度より通所内にて開始されたクラブ活動の作品展も見学していただきました。どのクラブも力作が並んでいました。

施設長・各所属長の挨拶を14時から行い、他部署への意見をいただきました。その後はスライドによる通所の一年間の行事をご覧いただき和やかなひとときを過ごしていただきました。今後も施設を安心してご利用いただけるよう職員一同努力していききたいと思います。

《通所 菅野 圭子》



フロア懇親会

今年もクリスマス会の日程に合わせ12月15日(日)にフロア懇親会を開催しました。師走の多忙な時期にもかかわらず31家族44名のご家族に来所していただきました。約1時間と短時間ではありましたが、施設長・各部所属長の挨拶、そこに引き続き10月に行いました施設に対するご利用者並びにご家族への満足度調査の結果概要をお話しました。スライドでは、1年間を振り返り、行事・クラブ活動の様子をご覧いただきました。

後半は、各フロアに分かれ、所属長・ケアマネジャーなどと歓談していただき、率直な意見交換ができました。ご家族の中には、他施設へ移動することへの不安を訴える方もおられましたが、日頃のケアが充実しているとお褒めの言葉もいただきました。今後、この意見交換を活かし、充実した介護に努めたいとの思いを新たにしました。いずれせよ、ご家族とスタッフは、ご利用者を支える大切な柱です。今後もより一層、ご利用者・ご家族と良好な関係作りを目指し努力していききたいと思います。

《療養部長 小島 明美》



クリスマス会



クリスマス会が12月15日(日)に行われました。フロア懇親会と同日ということもあり、多くのご家族にも参加いただくことができました。各フロア工夫をこらしたゲームや職員からの出し物として合唱が行われ、おなじみのX'masソングを4曲歌いあげました。その後各フロアをサンタクロースがクリスマスプレゼントを配って回り、笑顔あふれる会となりました。

1F 佐藤 優里奈



第55回全日本病院学会 in 埼玉

第55回全日本病院学会が11月2日・3日に大宮ソニックシティにて開催され、当施設から内野施設長、1階フロア平野・塚本、リハビリ科堀田が演者として参加しました。内野施設長はスライドにて「認知症の分類と認知症短期集中リハビリテーションの評価とその後のケア」という内容で発表しました。また、1階フロア平野・塚本とリハビリ科堀田はそれぞれポスター発表にて「在宅復帰促進に向けて～個人・環境因子から～」 「ADL能力と在宅復帰の関係性について」という内容で発表しました。当日の学会には多くの病院や施設から様々な職種の方が参加されており、質疑応答や意見交換の中で自分の視点とは違う角度からの見方などを教わり、有意義な時間が過ごせました。今回の経験を生かし、次回以降の全日本病院学会にも積極的な参加を続け、知識や経験を深めていくとともに、他施設との意見交換の場としていきたいと思ひます。



リハビリ科 堀田 智博

風船飛ばし

今年で3回目となる風船飛ばしを10月21日(月)に開催しました。これは園芸クラブで育てた植物などの種を風船に付けて、手紙を添えて飛ばす催しです。

前日は台風が来ていましたが、当日は天候も持ち直し、200個の風船が空高くへと飛んでいきました。今年も色々なところで多くの芽が出ることを願っています。

リハビリ科 内海 加奈



ドックセラピー (10月2日)

今回2度目となるドックセラピーを施設内にて行いました。ご入所中の方は犬と触れ合う機会が少ないことからとても嬉しそうな表情を浮かべていました。



1階外出レクリエーション (10月27日)

家族との思い出作りとして今回足利フラワーパークへ行ってきました！皆さん会話が弾み、「昔行った家族旅行を思い出す」と、とても喜ばれていました！



アクセス方法



《 施設送迎バス 》 東川口駅 発 ~ GV安行 行

東川口駅	戸塚安行駅	GV安行
10:45	10:55	11:00
15:30	15:40	15:50

《東川口駅停留位置》
南口出口
《戸塚安行駅停留位置》
出入口3番



ご意見・ご感想をお寄せ下さい！

本誌に関するご意見・ご感想をお待ちしております。頂戴したご意見等は、今後の誌面に役立たせて頂きます。皆様の声を広報局のメールアドレス g_angyo18@tmg.or.jp までお届けてください！